

## 三月号



「春は暖かくなると共に、別れの季節でもあります。今回は、少し侘しい雰囲気表現しました」 上田薫（大阪府立池田高校2年生）

### とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会（指定管理者） ☎06-6843-4343（水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00）

**3/12（日） 14:00~16:00**

**春期ホストファミリーボランティア**

**登録説明会**

内容：留学生と交流するホストファミリー事業（家庭宿泊なし）の説明、経験者や留学生との懇談  
定員：30人、要申込、先着順  
一時保育：3月7日（火）までに要申込み



**3/18（土） 18:30~20:30**

**国流シネマ・カフェ**

「ホテル・ルワンダ」の鑑賞

（ルワンダの民族紛争中に大量難民の命を救ったホテルマンの実話）

対象：20人

要申込、先着順



**3/27（月） 14:00~16:00**

**平和と共存のための～**

**おまつり地球一周クラブ「イギリスを知ろう」**

内容：イギリスに20年住んでいたことのある講師から同国の話を聞く

対象：小・中学生、20人

（保護者同伴可）

要申込、先着順



## ご報告 ご案内

「千里にほんご」  
養成講座のご報告と活動のご案内

「千里中央を中心とした地域には、外国人が沢山いるにもかかわらず、昼間に日本語交流の場所が無い」という外国人を含む市民のみなさんの声を受けて、千里地域連携センター（千里公民館、千里図書館）ととよなか国際交流協会は、ボランティアの皆さんと共に活動場所（居場所）づくりの準備に取り組むことになりました。

2016年夏からセンターで活動してきたボランティアの経験と知恵を集めて準備を進めてきました。そして、千里公民館において「千里にほんご」日本語ボランティア養成講座が2月9日、16日、23日の3回で行われました。人権やボランティア活動、外国人の現状などについて、準備を進めてきたボランティアと養成講座で初めて参加するボランティアとが同じテーブルに並んで受講しました。



千里コラボで行われた養成講座の一コマ

「千里にほんご」  
2017年4月6日(木)スタート  
毎週木曜日10:00~11:30  
【会場】  
第1&3木曜は千里図書館  
第2&4木曜は千里公民館

## ご報告

LGBTs 支援者研修を  
実施しました

2月24日(金)に「LGBTs in 滞日外国人」と題した支援者研修会をセンターで開催し、センターで外国人相談に携わる多言語スタッフ、相談員、職員の11人が参加しセクシュアルマイノリティの課題について学びました。講師に大畑泰次郎さん(大阪弁護士会人権擁護委員会 性的指向と性自認に関するプロジェクトチーム委員、弁護士)をお招きし、LGBTに関する基礎知識から、世界の状況、日本社会の課題をはじめ、同性婚配偶者に対する在留資格等具体的な事例についても学びました。LGBTsの数は少なくないにも関わらず、差別や偏見は根強く、社会だけではなく家族内でも孤立するために自殺念慮や自殺未遂の割合が高いことについても、詳しいデータを元に説明され、安心して相談できる場の保障や社会の意識変革の必要性について感じました。また、LGBTsを「腫れ物化」するのではなく、「性」は誰もが等しく抱える当事者としての問題だからこそ、「性的指向と性自認」という捉え方で誰もが自分のことに引きつけて考えることの重要性を学びました。



会場のようす

海外より



From Brazil

## Yamos! (第3回)

ネルソン百合子

小学校外国語体験活動、若者支援事業、日本語交流活動等のコーディネーター&ボランティアとして活躍していた、スリランカにルーツを持つネルソンさんが2016年4月よりブラジルに留学しています。ネルソンさんからの便りをどうぞ!

みなさん、お久しぶりです。ネルソン百合子です。

今年の冬は日本は例年より寒く雪の日も多かったようです。私は去年の4月にブラジルに来てからいろんな町に住みましたが基本的にどこも暑いか暖かいかのどちらかでした。この一年近くの間は何度夏を迎えたことか。

前回のコラムで、これからのことは未定ですと書きましたが、10月からサンパウロに住み始めました。日系人についての勉強を多くするため通っていた学校を離れて時間を見つけてはいろんな日系人に話を聞きに行っています。

住んでいるのは女性専用の大きなシェアハウスで、40人以上のブラジル人女性が住んでいます。

私は住み始めて5カ月ぐらいいりますが、長い人だと2年以上住んでいる人もいれば、大学に通う間や仕事の都合で短期的に住む人、定住先が決まってすぐに出て行く人もいます。なので今住んでいる人の半数以上は私より後に住み始めた人たちです。

年齢も出身州も肩書きもばらばらな女性たちが一つ屋根の下に住むとなると、本当にいろんなことがあります。みんなそれぞれに問題を抱えているのでお互いの悩みを話し合ったり、悩みがもつてケンカが起きたりもします。

私自身にも、この5カ月本当にいろいろありました。こんなに本気で笑ったのも怒ったのも泣いたのも今までなかったと思います。家族じゃない人同士が家族のように暮らすと、面倒だなと思うことも多いし、そういうことがいやで出て行く人もいます。私も何度か出て行きたくりましたが、なんとか頑張れています。

私一人ブラジル人じゃないことで大変なこともあります。考え方や習慣が違って悔しい思いもしました。みんなの話について行けなかったり理解に時間がかかって、気づいたら私の友だち同士がケンカを始めていて「あんたどっちにつくの?」と聞かれたこともあります。時々、みんなは私がブラジル人ではないことを忘れてるんじゃないかと思えます。実際、私も時々忘れますが。

もちろん、良いこともたくさんあります。料理やスラングを教えてもらったりいろんな場所に連れて行ってもらったりもします。先月も里帰り中の人の家に遊びに行ってきた。

この家ででの生活は、とても貴重な体験です。いろんな人と話して、それぞれの物語を聞いて、私も自分自身の物語について考えました。そして、これからの私の物語についても考えるようになりました。

3月末で日本に帰る予定でしたが、もう少し滞在を延ばそうと思えます。この場所、この仲間たちと過ごしてみようと思えます。



前列左が筆者



3/11 (土)

13:30~16:00

多文化共生フォーラムとよなか2017

## 大規模災害時における外国人支援～今後のめざすべき方向とは

豊中市は地域防災計画の中で、大規模災害が発生した際は災害情報について「国際交流団体や外国人等の支援団体に情報を提供することにより、日本語を解さない外国人に確実に情報が伝達されるように配慮する」と定めています。

そこで、豊中市と公益財団法人とよなか国際交流協会は、2月28日に災害時における外国人市民等の支援を円滑に行うことをねらいとする「豊中市災害時多言語支援センター設置に関する協定」を締結しました。



協定締結式のようす(左: 淺利市長、右: 松本協会理事長)

しかし、実際に大規模災害が起こった場合、市と国際交流協会だけでなく、市民、市民団体、関係機関などが、日頃の備えも含めた連携体制を作らないことには十分に外国人支援はできません。

そこで、昨年起こった熊本地震での支援の取組みも参考としながら、今後のあるべき方向や支援体制の在り方について考え、行動し

ていくきっかけとして本フォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

多文化共生フォーラムとよなか2017  
大規模災害時における外国人支援～今後のめざすべき方向とは

とき: 2017年3月11日(土) 13:30~16:00

ところ: とよなか国際交流センター

### 【プログラム】

【第1部】講演「東日本大震災の経験から」

講師: 佐々木アメリカさん(フィリピン出身、南三陸町在住)

【第2部】報告&パネルディスカッション

【第3部】外国人への多言語での情報提供に関する協定締結式

(大阪大学大学院国際公共政策研究科/とよなか国際交流協会)

定員: 50人(要申込)

主催: 豊中市、(公財)とよなか国際交流協会、大阪大学大学院国際公共政策研究科、(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)



なんちゃ・カンチャ・言わせてもらえば(第95回)

### 「みんなで考えれば何とかなる」

皇甫康子(ふぁんぼ・かんちゃ)

授業に呼んでもらって、自分の力のなさを思い知らされることがよくあります。韓国語を知っているので、ずっと手をあげてくれる子がいるのですが、あて続けるわけにもいかず、他の子に振ると、「無視した」とすねます。みんなが分からなかったら、一番知っているあなたに答えてもらうからねと言っても不満そうです。衝撃的な殺害事件の後だったので、「マレーシア」「キムジョンナム」と連呼する子どももいます。無視するわけにはいかないのだから、本当に驚いたねと返し、中国側から見える北朝鮮の美しい山の写真を見せ、20年も前になるが、橋を渡って中国側に土産物を売りに来たおばあさんが、大阪に親戚がいると懐かしそうにしてくれたこと話しました。どんなにひどい事件がある国でも、そこに住んでいる人たちは自分たちと違うのか。困ったときに助けられないのか。領土問題や「慰安婦」問題で政府間の意見がくいちがっていても、震災にあったら一番に日本を支援してくれたのは隣の国なのに。言いたいことを飲み込んで、子どもたちの心に届く言葉を考えます。

当事者である自分が「在日」の存在や韓国、朝鮮の文化を伝えるときのプレッシャーはかなりのものです。しかも、韓国や朝鮮の文化は幼い頃から身に着いた

ものではなく、大人になって身に着けたものです。それでも、毎年授業に呼んでもらうと、子どもたちの成長を見ることが出来ます。うれしいのは、今まで、取り組んだことを覚えてくれていることです。チマ・チョゴリのパクン人形を作ったこと、ハングルの名前カードを書いたこと、チャンゴのリズムやプチュム(扇の舞)を体験したこと、ペンイやユンノリ、チェギチャギ、コンギで遊んだことなど、たくさん思い出してくれます。コリアタウンを見学する学校も増えて、事前学習を依頼されたり、いまの問題を考えるワークをしたりしています。

今年度は「人はなぜ移動するのか」というテーマで、高学年にグループで考えてもらいました。「紛争や内戦などで、危険だから」「仕事がない」「原発事故や地震で」など、さまざまな意見が出ました。自分が生まれ育った国に住めなくなってしまう。そんな人たちが難民とされ命の危険を冒して、言葉も生活習慣もちがう外国に逃げてきたり、移住したりすることがどれほど大変なことなのか。自分の生活からは考えられないという顔つきでしたが、実は日本も明治以降、たくさんの人たちが外国に移民していることを伝えると、とても驚いていました。

小学生の時、内戦中のアフガニスタンから日本にやってきた人や、姫路にたくさん住んでいるベトナムの人たちのことを話すと、日本にも、いろいろな外国からきた人たちがすでにいることに気付いてくれます。では、自分たちの地域に、外国の人たちがたくさん来たらどうなのか。みんなで考えてみました。感想文には、「そういう時が来たら、自分から話をして仲良くなりたい」「自分もつらいときは人を頼りたくなるので、外国の人たちに頼ってもらえるようになりたい」と受け入れる気持ちが書いてありました。考え方や生活習慣のちがいがなど、問題は山積みになるでしょうが、みんなで話し合い、知恵を出し合うことができれば、何とか共に生きていけるのではないかと希望が持てます。

「かわいそうな外国人」なら受け入れて、「権利を主張する外国人」は排除するということにならないよう、同じ目線で相手を尊重できることが大切です。そうなるための、トレーニングを積むことで、自分も人間らしく生きていけるのだと思います。困らせてくれる子どもたちと向き合い、つながりたいという気持ちを持って、楽しく、心を揺さぶる授業を考えていきたいです。

# とよなか国際交流センターの事業について

## 定例事業 (以下すべて参加費は無料です)

### 国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

### 国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

### 在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。他…

### 在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

### 国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

### 日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00  
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)  
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)  
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)  
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)  
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)  
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

## 施設管理に関する業務 : 貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。  
 センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで  
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m <sup>2</sup> )	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室 1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室 2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室 2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室 2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室 3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室 4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室 5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム 1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム 2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム 2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク/必要な機材の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2台、準備室(ロッカー)、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします  
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします  
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金  
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)  
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

## ◎国際交流の活動を応援します!◎

### 登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

#### 登録グループへの支援内容(一部)

- ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
- ・センター内の掲示板で情報提供できます
- ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など

その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken\_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html

もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

### ◎「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です◎



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

## 各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始  
 アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)  
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)  
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター  
 E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



◎アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分